

龍ヶ崎市地域公共交通計画における計画目標の達成状況

別紙2

基本方針	評価指標	現況値	令和6年度(2024年度)末の実績	分析
		目標値		
①域内外の連携を支える 地域公共交通	【①－１】 地域公共交通利用者数	【2021年度実績】 929,628人	1,127,311人 コ ミ ュ ニ テ ィ バ ス ：217,933人 乗 合 タ ク シ ー ： 4,864人 路線バス(昼間割引時間帯)：144,286人 関東鉄道竜ヶ崎線(乗降客数)：760,228人	コミュニティバスは、昨年度同様、コロナ禍以降の回復傾向が強く、シャトルバスの運行廃止があったものの、循環ルート、長山・松葉線、佐貫・川原代線、若柴線で利用増が見られ、全体で約4,000人の増加。 乗合タクシーは、昨年度から約900人の増加。AIオンデマンド交通実証実験の終了が利用者増加の一つの要因と考えられる。 路線バスは、昨年度から約6,000人の減少。 関東鉄道竜ヶ崎線は、定期利用者・定期外利用者ともに増加し、コロナ禍前である2019年度実績の約9割まで回復。
		【2030年度目標】1,186,000人		
	【①－２】 地域公共交通に対する市民満足度	【2021年度実績】 ・市内の移動に関する満足度 28.0% ・市外の移動に関する満足度 35.4%	市内の移動に対する満足度：19.4% 市外の移動に対する満足度：32.9%	市内・市外の移動いずれにおいても低下しており、そのうち市内の移動に関しては、約9%の低下が見られる。 要因の一つとして、6年度実施の市民アンケートは6月1日～21日にかけて行われたが、令和5年12月に行われた市内路線バスの減便に加え、全国でも同様の動きが続いたことで、満足度の低下につながったと考えられる。
		【2030年度目標】 ・市内の移動に関する満足度 33.6% ・市外の移動に関する満足度 40.6%		
②まちづくりと一体となった 地域公共交通	【②－１】 利用者1人1回当たりの公的資金投入額 (市負担額)	【2021年度実績】 ・コミュニティバス 1,003円 ・乗合タクシー 1,096円	コミュニティバス 792円 (利用者数 217,933人 市補償額 172,601,331 円) 乗合タクシー 1,161円 (利用者数 4,864人 市補償額 5,649,700円) ※国庫補助金の受入先が事業者から市に変更になったことで、市歳出8,016,700円 市歳入2,367,000円となっており、歳出と歳入の差引である5,649,700円を市補償額として記載	コミュニティバスには、令和3年度と比較して利用者が約39,000人増加し、市補償額も約900万円の削減が図られたことにより、一人当たり市負担額も改善。 一方、乗合タクシーは、令和3年度と比較して利用者が約500人増加、乗合率も若干改善されたものの、一人当たり市負担額は増加。令和5年9月に実施されたタクシー運賃の改定による経費の増加が要因の一つと考えられる。
		【2030年度目標】 ・2021年度実績から改善		
	【②－２】 公共交通空白地域の割合	【2021年度実績】 ・市内の公共交通空白地域 0%	市内の公共交通空白地域 0%	市内全域を運行区域としている乗合タクシーを継続的に運行しているため、0%を維持している。
		【2030年度目標】 ・市内の公共交通空白地域 0%を維持		
③利便性の高い、安全・安心な 地域公共交通	【③－１】 市内の高等学校等への停留所整備率	【2021年度実績】 89.1%	89.1% 市内高等学校・大学・病院・診療所・商店街の 周辺300m以内への停留所の設置率	令和6年度中に、新たな停留所の設置等を行わなかったものの、令和7年4月以降、A I オンデマンド交通の本格運行開始に伴い改善の見込み。
		【2030年度目標】 97.8%		
	【③－２】 ノンステップバス導入率	【2021年度実績】 95.3%	97.9%(全47台中46台) 関東鉄道株式会社竜ヶ崎営業所における保有バスの内、 ノンステップバスの割合	令和6年度中の市ノンステップバス導入事業費補助金の活用はなし。
		【2030年度目標】 100.0%		
④市民と協働で支える持続可能な 地域公共交通	【④－１】 モビリティ・マネジメント等の実施回数	【2021年度実績】 9回/年	14回 モビリティ・マネジメント：7件 ふれ愛広場、敬老会、全国コロッセフェスティバル、 松葉小、馴染小、八原小、馴染台小 龍ヶ崎市地域公共交通利用促進活動補助事業：7件	ふれあい広場におけるコミュニティバス車両の展示のほか、市内4つの小学校を訪問し、公共交通の概要や利用方法等の説明を兼ねた乗り物教室を開催。 また、公共交通利用促進活動補助事業として、7事業を支援。
		【2030年度目標】 12回/年 (2023～2030年度の間に96回開催)		
	【④－２】 高齢者運転免許自主返納支援事業申請件数	【2021年度実績】 197件/年	107件	全国では減少傾向が続いていた運転免許の申請取消件数が、令和6年には増加に転じている一方、当支援事業申請者は引き続き減少傾向にあり、昨年度と比較して36件の減少。 この点については、今回の再編に合わせ、当事業の支援内容の充実を見込んでいたことから、令和6年度後半以降の来庁者に対し、令和7年4月以降の申請を促していたことが要因の一つとして考えられる。
		【2030年度目標】 200件/年 (2023～2030年度の間に1,600件)		